

●ジェフ・ホフイー

～音楽経験を活かしたオーダーメイドの楽器ケース作り～

シカゴ在住のジェフ・ホフイー (Jeff Hoffee) は、航空機を利用した移動に適したカーボンファイバー製楽器ケースの製作家である。彼の使命は、廉価で高品質の手工ケースの製作にある。彼が作るカーボンファイバー製ギターケースの値段は、599米ドルからで、好みの色や、背負いストラップ付き、極端な気温からギターを保護するためのライニング付きなど、買い手の希望により高くなる。

乱暴なギターケースの取り扱いの例を録画してYouTubeに流したことが音楽家の悪夢となり、波紋を呼んでいる。その例とは、ギターケースを河に投げ入れたり、ビルの屋上から落としたり、フットボールスタジアムから放り投げたり、高速道路を時速80キロで走っている車の荷台から投げ落すなどで、それでもギターは完全に保護されていたという。

「私は、ミュージシャンであり、ドラ

マーです。子供の頃から音楽に親しんできました。大学ではオーケストラで演奏しながら、ロックバンドにも入っていました。今でも趣味で“ビートルズバンド”という名前のシカゴのバンドで演奏しています。我々はあまり有名ではないですが、ツアーを続けており、週末に演奏もしています。その結果ギタリストとの接点ができ、彼らとともに親しくなりました。私は米国にある弦楽器と吹奏楽器のメーカーで重役をした経験があり、4年前に輸入楽器とケースを取り扱う卸商を立ち上げました。この間、常にカーボンファイバーケースと軽量ケースを扱ってきましたが、売上高や、コストと品質の関係について満足したことはありません」

「不景気になり、私の事業も影響を受けました。それが自前のケース作りに真剣に取り組む要因になりました。初めは簡単に考えていましたが、実用的なものを見つけるまでに1年半以上を要しました。本を読み、調査研究し、カーボンファイバーの成型に関する訓練を受けました。多くの試行錯誤の末に、今の製品にたどり着いたわけです。ヴァイオリンとチェロのケースからスタートした事業の初期段階は、ほとんどオーケストラ用の楽器でしたが、突然ギターケースの注文が来て驚きました」

ホフイーの工場は、シカゴの南部に位置するイリノイ州ジョリエットにある。彼のアシスタントは、彼の製品の良さを理解している音楽家である。

「私は、ケース業界に新しいユニークな経営手法を取り入れています。それは費用の割には品質の良い、強くても軽量のシェル型ケースを可能にしました。内装はすべて注文に応じています。これ

は、なかなかできることではありません。我々はアメリカの優れた手工技術と機材を使用しています。それを知っている多くの顧客を海外に持っていますが、彼らは、このケースが高い輸送コストを支払っても余りある価値と耐久性を持っていることを認識しているのです」とホフイーは言う。

ホフイーは、これまで製品をアルゼンチン、スペイン、ドイツ、オーストラリア、及び日本の顧客に出荷してきた。またヒル・ギター (Hill Guitars) やラック&リー・ギターワークス (Ruck and Lee Guitar Works) といった多くの楽器製作家からも、ギターを出荷する際に使用する目的で、ホフイーのギターケースの注文が来ている。

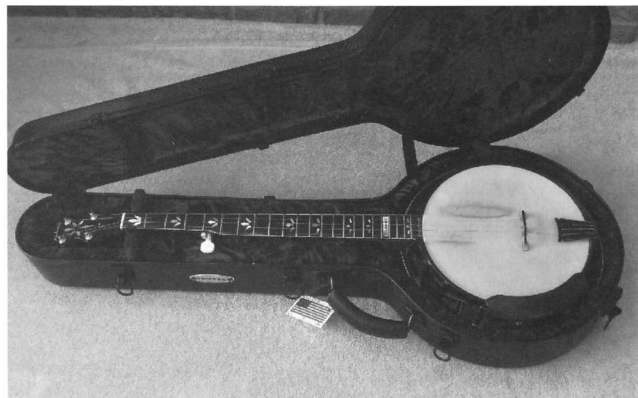
ティム・マックグロウ・バンドのギタリストや、メリッサ・イサーリッジとリンゼイ・バックingham両名と共演してきたギタリストのジャネット・ロビンソンといった多くのナッシュビルの演奏家たちも、彼のケースに興味を持ち始めた。

「今ではバンジョーやマンドリンケースの製造もしています。アーチトップ・ギターやドレッドノート・スタイルのケースも既に製造しています。バンジョーの演奏家のためのオンライン・フォーラムに私の名前が掲載されて以来、バンジョー・ケースの注文を1日に5件受け付けたことがあります。ですからバンジョー・ケースの製作でも、忙しくなってきました」

「我々の製品で最も人気があるのはクラシックギター・ケースですが、それはこのケースが、たまたま他のアコースティックギターに適合したからです。マーチンOタイプ、マーチンOOタイプやリゾネーターギターにも同じ枠組みを使っています」



マンドリン・ケース



バンジョー・ケース

●注文に応じた細やかな配慮

ホッフィーのギターケースの色はメタルグレーがベースだが、内張りは注文に応じて皺つきのビロードや、シマウマや豹のプリントも可能。注文のほとんどは、銀、青、金、緑と赤である。

「表面に輝きを与えるような、改造自動車のボディに使用されるタイプのものを最後の仕上げに使っています。これは塗料ではなく、下地のカーボンファイバーが見えるような半透明の素材を鋳型の一部にスプレイしたジェルコートとのミックスです。客によってはギターを低い温度に保つために明るいブルーや銀色を求める人もいます。我々の新しい考案の1つは、オプションでケース内側の断熱処理をしていることです。そのために、これまでジャケットやグローブのライニングとして使われてきたスリーM社製の断熱材を使い、極端な温度にも耐える独特のライニングを開発しました。これをテストするためギターケースを太陽にさらしたことがあります。テスト開始時のケースとギターの温度は摂氏25度でしたが、太陽の下に30分置いた状態では、ケースの外側は60度に達しましたがギターは29度でした。しかし、耐熱性が永遠に続くわけではなく、フェスティバルなど屋外での演奏や、車の中にギターを置いておくなど短時間であればそれなりに役にたつということです」

「我々が内張りの芯に使用しているのは、クロズードセルフォームという特殊な素材です。ほとんどのケースメーカーはフォームラバーを使っていますが、我々の製品は、もっと固くてショックを吸収するようになってきています。楽器を保護するのに最も適しているか否かを確認するために、フォームの上に卵を落とす実験をしたことがあります」とホッフィーは語った。「航空業界がギターを壊すことで悪名高いことは、誰しも知っていることです。それが気になる多くの人々から、私のところに毎日のように電話がきます。ヘビメタバンドのW.A.S.P.のリードギタリストからもケースの注文を貰ったことがあります。彼のギターはレーザー付きの特製ギターで、彼は過去に航空会社の手荷物係りが彼のギターを壊す現場を見たことがありました。すべての人にとってギターは

大切なものなので、皆さん軽くて丈夫なケースを欲しがります」

●ホッフィーと日本

ホッフィーはイリノイ州立大学で日本語と国際貿易を専攻し、学位を取った。「私は日本語と日本文化と日本のビジネスを4年間勉強しましたが、その間に大阪の近くにある関西外国語大学に1学期留学しました。日本にいる間に素晴らしい経験をたくさんしました。私がアメリカにいる時に初めて聴いて好きになった少年ナイフという女性だけのグループのコンサートに行きました。ショーの途中で、舞台の袖でダンスを踊っていた私と友達に気が付いて、バンドのメンバーがステージから我々に話しかけてきて、終了後サインをするから会いに来るように声を掛けてくれました。もう1つ覚えているのは、桜の花祭りを楽しんだことです。その後、しばらく日本に行っていませんが、いつかギターショーに参加するために日本に行きたいと思っています」

「アメリカには、他にもケースメーカーはありますが、軽量カーボンファイバー製のケースを注文生産しているところは非常に少ないと思います。そのことを知って驚く人々もいます。カーボンファイバーは軽くてとても耐久性があります」

ホッフィーの典型的な航空機用クラ

シブクギターケースの重量は7ポンド(約3.1kg)である。彼のウェブサイトを通じて彼と直接連絡ができるし、スタンダードな製品は別にして、購入希望者にはギターの寸法の取り方とトレーシングの送り方について情報が得られる。

「オーダーメイドで変わった形のケースを注文される場合には、ギターの寸法とトレーシングが必要ですよ」

現在、新しい注文については平均3～4週間の待ち時間が必要とのこと。

詳しくは：

http://www.carbonfibrecases.com/Home_Page.php

YouTube video:

<http://www.youtube.com/watch?v=gNWxRzBp1l>



ジェフ・ホッフィー